

平成 30 年度 介護報酬改定に向けて リハプログラム研修会

～ 各種リハ実施や社会参加への関わりは、どう実践するか？ ～

～ 本研修会の狙い ～

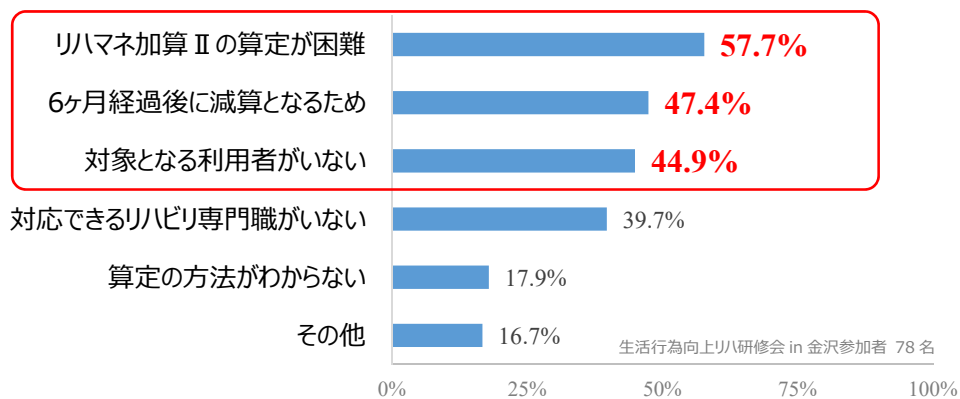
生活行為向上リハ実施加算は算定されていない！？

平成 27 年度介護報酬改定において、ADL・IADL、社会参加などの生活行為の向上に焦点を当てた「生活行為向上リハビリテーション実施加算」が新設され、通所リハにおける実践が期待されました。ところが、3 ヶ月以内は 2,000 単位/月という報酬にも関わらず、平成 29 年 4 月の介護報酬給付費実態調査によると、同月に生活行為向上リハ実施加算を算定した利用者は全国に 200 人しかいません。同月の通所リハ利用者（要介護者）は 37.4 万人であり、算定率はたったの 0.05%です。

また、平成 30 年度介護報酬改定に向けた議論が行われている社会保障審議会介護給付費分科会¹⁾において、「通所リハビリテーションの質を担保・向上する観点から、通所リハビリテーションの実施における生活行為の向上、社会参加の促進等についてどのように考えるか」として、議論の論点に挙げています。

1) 第 141 回 社会保障審議会介護給付費分科会： <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000168709.html>

「生活行為向上リハ実施加算」の算定が難しいのは、 「生活行為向上リハ」が難しいからではない！



生活行為向上リハ実施加算を算定していない理由

生活行為向上リハ実施加算が算定されていない理由は、生活行為向上リハの実践が難しいからではありません。本加算を算定するためには、①リハマネ加算Ⅱの算定が必要、②6ヶ月で修了する期間限定、という2つの大きなハードルが存在します。

実際に本会が生活行為向上リハ研修会にて行ったアンケート調査によると、生活行為向上リハ実施加算を算定していない理由は、「リハマネジメント加算Ⅱが算定できない」、「6ヶ月経過後に減算となる」、「対象となる利用者がいない」の3項目が高い値を示しました(上図)。そこで本研修では、生活行為向上リハを含めリハ実施加算の関わりと修了に向けた関わりについて、実践事例を通じて学んでいきます。

【本研修会の内容】

時 間	内 容
09 : 00 - 09 : 30	受 付
09 : 30 - 10 : 50	講義① : <p style="text-align: center;">30 年度改定に向けて通所リハに求められる機能とはなにか？</p> <p style="text-align: center;">～ リハビリプログラムの立案・実践と修了への取り組みを中心に ～</p> [講師] <ul style="list-style-type: none"> ・ 岡野 英樹：（一社）全国デイ・ケア協会 理事 リハビリテーション医療関連団体協議会 報酬対策委員会 委員 [内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の動向から読み解く、通所リハにおける課題と対策。 ・ 各リハ実施加算の算定に必要な具体的な対策。（Q&A の解釈） ・ 社会参加支援加算の算定に向けた工夫と社会資源を活用のポイント。
11 : 00 - 12 : 00	グループワーク① : <p style="text-align: center;">リハビリプログラム・利用者の修了における事業所の課題</p> 参加者同士での情報交換や講師陣からのアドバイスから、自事業所の課題を振り返ります。
12 : 00 - 13 : 00	昼食休憩
13 : 00 - 14 : 00	実践報告① : <p style="text-align: center;">各種リハ実施加算の関わりにおける効果的な実践とその工夫</p> [講師] <ul style="list-style-type: none"> ・ 二木 理恵：介護老人保健施設 せんだんの丘 ・ 柴田 美雅：千葉医療福祉専門学校 [内容] 生活行為向上リハ・認知症短期集中リハに関する具体的な実践方法とその工夫等。
14 : 10 - 15 : 10	実践報告② : <p style="text-align: center;">修了へ向けた取り組みとその工夫</p> [講師] <ul style="list-style-type: none"> ・ 二木 理恵：介護老人保健施設 せんだんの丘 ・ 柴田 美雅：千葉医療福祉専門学校 [内容] <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の修了へ向けた取り組みや地域のインフォーマルサービスとの連携等の実践方法等。
15 : 20 - 16 : 20	グループワーク② : <p style="text-align: center;">リハビリプログラム・利用者の修了における課題への具体的な対策の検討</p> 参加者同士での討議や講師陣からのアドバイスから、各事業所の課題に対する明日からできる具体的な対策を検討していきます。
16 : 20 - 16 : 30	閉会挨拶

※ 本研修会は、昨年度実施した「生活行為向上リハ フォローアップセミナー」から「リハビリプログラム」に特化した内容です。

【開催概要】

【日時】平成29年9月16日（土）9:30～16:30（9:00受付開始）

【会場】東京ビックサイト 会議室
〒135 0063 東京都江東区有明3丁目11-1

【対象】通所リハビリテーションに従事する方

【定員】会場60名（先着順）

【対象】通所リハビリテーションに従事する全職種

【受講料】全国デイ・ケア協会 認定管理者	4,000円（資料代・消費税込み）
全国デイ・ケア協会 会員	6,000円（資料代・消費税込み）
全国デイ・ケア協会 非会員	11,000円（資料代・消費税込み）

*リハマネジメント研修会と併せてお申し込みされた方は、セット割引（1,000円）があります。
*ご連絡が無く欠席された場合には受講料のご返金は出来ません。

【受講ポイント】

- ・全国デイ・ケア協会：認定管理者制度 2ポイント
- ・日本理学療法士協会：専門・認定理学療法士（生活環境支援） 5ポイント
- ・日本作業療法士協会：生涯教育制度 基礎ポイント（詳細は各都道府県士会へお問い合わせください）

【申込方法】

- ① 右記入カフォームより必要事項をご入力ください。
（または、協会HPよりお申し込みください）
- ② 入力後、仮受付メールを返信します。
メールが届かない場合には、お問い合わせください。
※ 携帯メール(@docomo.ne.jp等)へは、配信できない可能性がございます。
- ③ 仮受付メール配信後、1週間以内に受講番号を返信します（受講確認メール）。
受講費のお振込に関しては、受講確認メールをご確認ください。

[お申込み入力フォーム](#)



【申込期日】：平成29年9月13日（水）

【お問い合わせ先】 E-mail:kenshu@day-care.jp

【昼食・宿泊】 お手数ですが各自にてお願いいたします。

【参加者の声】

自分たちの施設で取り組んでいること、
今後の方針などが、この研修会で
再認識することができた。
また、研修会へも参加したい！

他の施設のことや、取り組み内容が
わかり、とても参考になった。
早速、現場でも活かしていきたい。